



広報おうめ「なんでも情報局アンテナ」の締め切りは、9月15日号…8月20日(木)、10月1日号…9月4日(金)です。-秘書広報課-

なんでも情報局
アンテナ

☆催し(子ども向け)

●0才からの音楽会 9月17日(木) 午前10時30分～11時20分▽もみの木幼稚園▽幼稚園教育を考えている未就園児の親子▽子どもと楽しめるフルート、ピアノのコンサート▽安田恵氏▽先着20組▽費用無料▽もみの木幼稚園 井本☎070・5571・6102へ申し込み

☆会員募集

●英会話 金曜日 午前10時～正午▽長洲市民センター▽初心者▽単語や熟語を学び、フリートークに生かす▽ボブ・ヤング氏▽3人程度▽月額3千500円▽NECC 諏訪☎090・1764・5960

●ボランティア・市民活動センターから申し込み・問い合わせ

☎23・7163
☎23・7165
郵送:〒198-0042 青梅市東青梅1-177-3

●障害者や高齢者の生活・就労・教育相談 9月2日(水) 午後1時～4時▽福祉センター▽障害のある方と家族、高齢者等▽カウンセラー 白井利明氏、大澤洋子氏▽先着3人▽費用無料▽ボランティア・市民活動センターへ申し込み
●視覚障害者のためのスマホ、パソコン教室 9月12

☆その他

●鈴虫の無料配布 8月22日(土) 午後1時～2時▽御岳交流センター▽先着30人▽費用無料▽持ち帰り用のケース持参※飼育教室は中止▽直接会場へ▽御岳観光協会 師岡☎090・8580・8269

官公署だより

●家庭のゼロエミッション行動推進事業 都では、省エネ性能の高いエアコン、冷蔵庫、給湯器への買い替えに対し、商品券などに交換できる「東京ゼロエミッション」を付与します▽令和元年10月1日以降に対象製品に買い替え、都内の住宅に設置した都民▽対象製品は、統一省エネルギー

ンター▽60歳以上の経験者▽定員50人▽月額1千円、入会金1千円▽直接会場へ▽シルバー社交ダンス青梅 柳田☎22・7012

ベル4つ星以上のエアコン、統一省エネルギーラベル5つ星の冷蔵庫、高効率給湯器▽詳細は東京ゼロエミッション事務局 <https://www.zero-emissions.jp/> 同コールセンター☎0570・005・083、☎03・6634・1337

●八王子都税事務所から☆都税における納税証明書は、すべての都税事務所・都税支所・支庁で申請できます:申告・納付後1～2週間以内に納税証明書を申請する場合は、①領収証書の原本(領収印のあるもの)②申告書の控え(受付印のあるもの)(※②は申告税目のみ)の両方をお近くの都税事務所等へお持ちください▽同事務所☎042・644・1122、青梅都税支所☎22・1152☆自動車税環境性能割に係る臨時的軽減の期間が延長されました:令和元年10月1日～2年9月30日に取得した自家用乗用車に係る自動車税環境性能割の税率を1%軽減する特例措置について、適用期限を6か月延長し、令和3年3月31日までに取得したものが対象となります▽都自動車税コールセンター☎03・3525・4066(月～金曜日 午前9時～午後5時)



ちいき・いきいき・げんきパネル展

高齢者が地域で元気にいきいきと生活できるように、住民による地域の活動や介護予防等のさまざまな情報、地域包括支援センターの紹介をします。



展示期間
①介護予防リーダーの活動 8月17日(月)～21日(金)
②地域の支え合い活動 8月24日(月)～28日(金)
③フレイル予防 8月31日(月)～9月4日(金)
④アルツハイマー週間 9月7日(月)～11日(金)
会場 市役所1階ロビー
問い合わせ 高齢者支援課包括支援係

障害者施設等作品展示会の
出展希望施設、団体を募集します

12月3日(木)～9日(水)の障害者週間に市役所1階ロビーで「障害者施設等作品展示会」を開催します。
出展を希望する施設、団体を募集しますので、ぜひご応募ください。
☆都税における納税証明書は、すべての都税事務所・都税支所・支庁で申請できます:申告・納付後1～2週間以内に納税証明書を申請する場合は、①領収証書の原本(領収印のあるもの)②申告書の控え(受付印のあるもの)(※②は申告税目のみ)の両方をお近くの都税事務所等へお持ちください▽同事務所☎042・644・1122、青梅都税支所☎22・1152☆自動車税環境性能割に係る臨時的軽減の期間が延長されました:令和元年10月1日～2年9月30日に取得した自家用乗用車に係る自動車税環境性能割の税率を1%軽減する特例措置について、適用期限を6か月延長し、令和3年3月31日までに取得したものが対象となります▽都自動車税コールセンター☎03・3525・4066(月～金曜日 午前9時～午後5時)

戦後75年。当時の記憶忘れぬ。

問い合わせ 市民安全課市民相談係

今年、終戦から75年の節目の年です。先の大戦では、全国各所への空襲、広島、長崎への原爆投下などで多くの尊い命が失われ、今を生きる体験者は、悲惨な時を乗り越えてきました。薄れていく当時の記憶をたどるため、激動の時代を生きた方に、戦



▽戦時下の子どもたち

昭和20年、当時13歳、女学校の1年生で、毎日軍事工場に動員に行っていました。勉強なんて全然しませんでした。土日も休みなく毎日働いていました。その日も、いつもと変わりなく、軍事工場に行くため青梅駅のホームで電車を待っていました。アメリカ軍の飛行機が来ると連絡があり、先生が奥多摩方面から電車で乗ってきた子どもたち

に「降りなさい!」と声をかけました。友人の牧野寿江さんはきつと聞こえなかったのでしょう。電車を降りることなく東青梅駅を出たところで、銃撃を受けました。この銃撃で、

2人が被害に遭いました。1人は男性で、機銃の弾が足を貫通し、その弾が近くにいた牧野さんに命中してしまいました。先生から、O型の人はずいぶん現場に行くと輸血をするよう命じられ、私は他の同級生と先生と3人で急いで青梅駅から走って現場に向かいました。

現場にはお医者さんらしき人が、負傷した牧野さんを診ていてくれましたが、出血多量でなすすべもなく、私たちが駆けつけた時にはやっとな息を吐いてくわいでした。「がんばれ、がんばれ」と声をかけ続けました。私たちが目の前で牧野さんは息を引き取りました。駆けつけた同級生と私は、その場に泣き崩れました。牧野さんはとても優しく、いい子だったんですよ。空襲は、日常的にありましたが、この辺りの方は永山に逃げました。辺りの空一面が真っ暗になるくらいB29がやって来ました。八王子の方から青梅に廻って飛んでくるのです。動員の工場では、すぐそばに滑走路があるので、アメリカの飛行機に乗っている乗務員が見える低いところから機銃で撃たれ、飛んでくる葉きょうが体にあたり熱くて怖かったです。今でも思い出します。本当に怖い思いをたくさんしました。